安全データシート

作成：2011年　8月22日
改訂：2023年11月　8日

1. 製品及び会社情報

整理番号	：KF103－05
製品名	：コサイド3000
会社名	：クミアイ化学工業株式会社
住所	：東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	：サステナビリティ推進部　レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	：03－3822－5180
FAX番号	：03－3823－6830
緊急連絡先	：平日　午前 9 時～午後 5 時　（電話番号03－3822－5180）
推奨用途及び使用上の制限	：農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	：区分4
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	：区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分1
	生殖細胞変異原性	：区分2
	発がん性	：区分1A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：区分1（消化管）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分1（呼吸器） 区分2（腎臓、免疫系）
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期　（急性）	：区分1
	水生環境有害性　長期　（慢性）	：区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語：危険

危険有害性情報

・飲み込むと有害

・吸入すると生命に危険

・重篤な眼の損傷

・遺伝性疾患のおそれの疑い

・発がんのおそれ

・臓器（消化管）の障害

・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器）の障害

・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（腎臓、免疫系）の障害のおそれ

・水生生物に非常に強い毒性

・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

・使用前に取扱説明書を入手すること。

・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

・取り扱い後はよく洗うこと。

・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

・換気が不十分な場合／呼吸用保護具を着用すること。

・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

・環境への放出を避けること。

【応急処置】

・飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師に連絡すること。

・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
・漏出物を回収すること。

【保管】

・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
・施錠して保管すること。

【廃棄】

・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：　水酸化第二銅

成分及び含有量：	水酸化第二銅	46.1%
＜その他＞	アクリル酸重合物	21%
	結晶質シリカ（石英）	≧1.0～＜3.0%

官報公示整理番号：化審法	1-293	水酸化第二銅
	6-898	アクリル酸重合物
	1-548	結晶質シリカ（石英）

CAS　No.：	20427-59-2	／　水酸化第二銅
	9003-01-4	／　アクリル酸重合物
	14808-60-7	／　結晶質シリカ（石英）

4. 応急措置

吸入した場合：

直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合：

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

飲込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤。

使ってはならない消火剤:

棒状注水。

火災時の特有の危険有害性:

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法:

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:

呼吸用保護具を着用すること。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

呼吸用保護具を着用すること。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項:

漏出物は回収すること。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策:

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い
技術的対策:
蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱注意事項:
環境への放出を避けること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
呼吸用保護具を着用すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
接触回避:
『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策:
取扱い後はよく手を洗うこと。
保管
安全な保管条件:
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
安全な容器包装材料:
情報なし

8. ばく露防止及び保護措置
管理濃度:未設定
許容濃度:
結晶質シリカ（石英）（吸入性粉じん）0.03 mg/ m^3（OEL－C）日本産業衛生学会
結晶質シリカ（石英）（呼吸濃度）0.025 mg/ m^3（TWA）ACGIH
設備対策:

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具	:呼吸用保護具を着用すること。（例:JIS T8151 に適合する防じんマスク等）
手の保護具	:保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	:保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	:保護衣を着用すること。

９. 物理的及び化学的性質

外観等	:暗青緑色水和性微粒及び粗粉
臭い	:銅独特の臭い
pH	:7.5 – 9.5（1%溶液）
融点／凝固点	:データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:データなし
自然発火点	:データなし
可燃性	:データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	:データなし
引火点	:データなし
分解温度	:データなし
動粘性率	:データなし
溶解度	:水に分散する
n−オクタノール／水分配係数（log 値）	:データなし
蒸気圧	:0 mmHg (25℃)
密度及び／又は相対密度	:データなし
相対ガス密度	:データなし
粒子性状	:データなし

１０. 安定性及び反応性

反応性	:情報なし
化学的安定性	:推奨される保管条件下では安定である。
危険有害反応可能性	:通常の処理では危険有害反応はない。
避けるべき条件	:反応性物質の近くでの保管を避ける。 140℃を超える温度を避ける。
混触危険物質	:強酸
危険有害な分解生成物	:熱分解により、刺激性の有毒なガスや蒸気が発生

する可能性がある。
酸化銅。

11. 有害性情報

急性毒性

経口:

区分 4:水酸化第二銅(変換値＝500mg/kg)

区分に該当しない:アクリル酸重合物(毒性値＝2,500 mg/kg)

分類できない:結晶質シリカ(石英)

計算結果が 885.6858847 mg/kg のため、区分 4 に該当する。

経皮:

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

吸入:

(急性毒性(吸入:気体))

GHS 定義による気体ではない。

(急性毒性(吸入:蒸気))

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))

区分 2:水酸化第二銅(変換値＝0.05mg/l)

計算結果が 0.0565076 mg/kg のため、区分 2 に該当する。

皮膚腐食性／刺激性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

区分 1:水酸化第二銅

眼区分 1 の成分合計が濃度限界(3%)以上のため、区分 1 に該当。

呼吸器感作性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

皮膚感作性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

生殖細胞変異原性

区分 2:結晶質シリカ(石英)

結晶質シリカ(石英)≧1%のため、区分 2 に該当。

発がん性

区分 1A:結晶質シリカ(石英)

区分 2:アクリル酸重合物

結晶質シリカ(石英)≧0.1%のため、区分 1A に該当。

生殖毒性

（生殖毒性）

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

（生殖毒性。授乳影響）

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 1：硫酸ナトリウム（臓器＝消化管）

硫酸ナトリウム≧10%のため、区分 1（消化管）に該当。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分 1：結晶質シリカ（石英）（臓器＝呼吸器、腎臓、免疫系），アクリル酸重合物（臓器＝呼吸器）

アクリル酸重合物≧10%のため、区分 1（呼吸器）に該当。

結晶質シリカ（石英）≧1%のため、区分 2（呼吸器、腎臓、免疫系）に該当。

区分 2：結晶質シリカ（石英）（呼吸器）は、上位区分の区分 1：アクリル酸重合物（呼吸器）へ纏めた。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性　短期（急性）：

区分 1：水酸化第二銅

区分 1×毒性乗率が濃度限界（25%）以上のため、区分 1 に該当。

水生環境有害性　長期（慢性）：

区分 1：水酸化第二銅

区分 1×毒性乗率が濃度限界（25%）以上のため、区分 1 に該当。

残留性・分解生：

情報なし

生体蓄積性：

情報なし

土壌中の移動性：

情報なし

オゾン層への有害性：

データ不足のため分類できない。

その他：

水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

蚕に影響があるので桑葉に飛散しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輌、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	:クラス９（有害性物質）容器等級Ⅲ
国連番号	:３０７７（環境有害物質、固体）
国内規制	
海上規制情報	:船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	:航空法の規定に従う。
陸上規制情報	:道路法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	:171 （低、中程度の危険性物質）

15. 適用法令

農薬取締法	:登録番号　第２２５３３号
消防法	:非該当
化審法	:優先評価化学物質（法第 2 条第 5 項）（アクリル酸重合物）
労働安全衛生法	:施行令第 18 条、第 18 条の 2（表示・通知対象物質）：銅及びその化合物（政令番号 379） 施行令第 18 条、第 18 条の 2（表示・通知対象物質）：結晶質シリカ（石英）（政令番号 165-2） がん原性物質（安衛則第 577 条の 2 第 3 項、令和 4 年 12 月 26 日告示第 371 号、令和 4 年 12 月 26 日基発 1226 第 4 号）（結晶質シリカ）
水質汚濁防止法	:指定物質（法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3）（銅及びその化合物）
大気汚染防止法	:有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第 9 次答申）（銅及びその化合物）

船舶安全法　:有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法　:その他の有害物件(法第86条第1項、施行規則第194条、昭和58年11月15日告示第572号・別表第1)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

:第一種指定化学物質　565　アクリル酸重合物

毒物劇物取締法　:非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:1) JIS Z 7252:2019　GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン　ラベル及び表示・安全データシート作成指針　2019年6月　社団法人　日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法　第19版　2022年4月　農薬工業会

4) GHS文書　改訂第6版(2015年)

5) 三井物産株式会社　コサイド3000　安全データシート　(2023年9月28日作成版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大　阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※　ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※　弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担　いたします。